

外観



島田病院は、大阪府の南東部に位置する羽曳野市にある整形外科専門病院であり、今回新たに地域包括ケア病棟を持つことになった。

1F 外来トイレ 入口



グレーを基調としたモダンなインテリアが特徴の外来トイレ。スタイリッシュな空間に合わせたオリジナルデザインのサインを掲示している。

1F 検査室横トイレ



壁に採尿用の窓を設けた、検査室に隣接した共用トイレ。男性の採尿に配慮し、小便器も設置している。

内観



外来受付(左上)。診察中待合(右上)。療養病棟の食堂兼談話室(左下)。雁行型に配置した個室(右下)。

1F 外来トイレ



外来・病棟共に大便器は、清掃性に配慮し壁掛大便器を採用。床材を巾木の高さまで立ち上げ、壁と床の継ぎ目をなくしている。洗面器の水栓は非接触で衛生的な自動水栓を設置した。

スタッフルーム・検査室 手洗器



感染症対策として、スタッフルームと検査室にはボール面が大きく、入念なスタッフの手洗い行為に配慮した病院用洗面器(特殊対応品)を設置。清掃性に配慮し、周囲の壁材は汚れにくい素材を採用した。

3F・4F 病棟 個室



病室の形状やスペースに合わせて、個室の水まわりには、病院用ユニットバス(大便器は壁掛け特注仕様)、またはオクタゴン(病院・高齢者施設向ユニット)を配置している。

3F・4F 病棟 共用浴室 洗面コーナー



機械浴室には、車いす使用者や介助者の使い勝手に配慮した車いす対応洗面を採用(左)。個別浴室には、カウンター式洗面を採用。パウダーコーナーを兼ねており、照明を鏡横に設置し、鏡映りに配慮(右)。

建築概要

名 称	島田病院
所 在 地	大阪府羽曳野市榎山100-1
施 主	医療法人 永広会
設 計	株式会社ゆう建築設計
竣 工 年 月	2016年4月
病 床 数	一般病棟43床、療養病棟45床

3F・4F 病棟 特別室



トイレ・洗面・浴室・ミニキッチンを設けた特別室。トイレには、転倒防止策として背もたれとアームレスト、I型手すりと棚付二連紙巻器を設置。洗面化粧台は、いすに座ったまま使える座ってラクラクシリーズを採用。

3F 一般病棟 図面



個室は、各部屋を斜めにずらした雁行形に配置することで、室内に外光を取り入れる工夫をしている。

水まわりの特長

<改築の経緯>
島田病院は、大阪府羽曳野市の整形外科(急性期・回復期・生活期)医療を担う専門病院。整形外科専門病院での導入は世界初となる3.0テスラMRIなど最新機器の医療設備を導入。診断能力の向上や検査の待ち時間を短縮するなど、安全で心に届くサービスを提供できる病院を目指している。このたび、さらなるリハビリテーション機能の充実と機能・設備の大幅拡充を図るため、既存施設に隣接した土地に新築移転することとなった。1階は外来・リハビリテーションルーム、2階は手術室、3階は急性期病棟、4階～5階は地域包括ケア病棟・病棟リハビリテーションルームで構成される。

<水まわりの特長>
大便器は、外来・病棟ともに感染対策として、清掃性の高い壁掛大便器を採用。小便器は節水性やメンテナンス性の高い自動洗浄小便器を設置した。病棟の個室は、形状やスペースに合わせて器具を選定。病院用ユニットバス、または空間を有効活用できるオクタゴン(病院・高齢者施設向ユニット)を採用することで、緊急時のストレッチャーの搬出入がスムーズにできる居室内通路の有効寸法をしっかりと確保。また、スタッフステーションとスタッフ用通路には、スタッフの手洗いに配慮した病院用洗面器(特殊対応品)を配置し、院内設備に求められる感染症対策を実施している。